

南加賀野菜を中心とした地産地消の取組の拡大

近年、消費者の食の安全安心に対する関心は非常に高く、地元産野菜の需要が拡大しています。

このことから、南加賀地域（加賀市、小松市、能美市、川北町）において、平成23年度に、生産者・市場・JA・市町・農林総合事務所で構成する地産地消推進協議会を組織し、地元産野菜を中心とした地産地消と食育活動に取り組んでいます。

具体的には、JAと市場が活動費を負担し、農林総合事務所がコーディネーター（事務局）となり、

- ・地元スーパーや量販店での地元産野菜の売り場確保
- ・「なんかがいい野菜」を愛称にしたPR活動
- ・学校給食での利用促進
- ・小学生を対象にした食育活動

などの活動を展開してきました。

この結果、南加賀地域での活動が定着し、「なんかがいい野菜」の愛称の知名度が向上するとともに、地元スーパーでの地場野菜の取扱いの増加や学校給食への計画的利用の拡大等につながってきたことから、当事務所では、今後、加賀地域全体に活動を広げ、一層の知名度向上と消費拡大を図ることとし、協議会に提案しました。

本年度の総会（5月）で承認を経て、まずは第一弾として、5月に、金沢市の大型量販店で南加賀野菜の販売コーナーを設け、製品のPRを行いました。今回は10日間という限られた期間でしたが、消費者から好評を得て、秋に再度コーナーを設置する予定です。

今後、加賀地域の各量販店に働きかけ販売機会の拡大と知名度向上を図るとともに、需要に応える生産拡大に取り組んでいきたいと考えています。



今年新たに金沢市内の大型量販店で設置した
「なんかがいい野菜」コーナー

問い合わせ先：農業振興部（0761-23-1703）